

Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

日本教育情報学会

NO. 118 2006. 7. 21

〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町10番地 杉山ビル4F 岐阜女子大学 文化情報研究センター内
日本教育情報学会 運営本部事務局 Tel:058-267-5233 Fax:058-267-5238
E-mail:nkjg@gijodai.ac.jp http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsei

第22回定時総会招集のご通知

会長 後藤 忠彦

第22回定時総会を下記の通り開催いたしますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

1. 日時 2006年8月26日(土)13:00~13:40
2. 会場 岡山理科大学 25号館8階理大ホール
(岡山県岡山市理大町1-1 Tel:086-256-8485 情報処理センター)
3. 議案 第1号議案 2005年度事業報告及び収支決算の件
第2号議案 2006年度事業計画及び予算案の件
第3号議案 役員選任(補充)の件

総会終了後、日本教育情報学会学会賞表彰式を行います。

※出欠表・委任状は8月18日(金)までに返送用封筒によりご返送くださいますよう、お願いいたします。

第22回年会 参加申込み受付中！！

(詳しくは、4頁をご参照ください。)

問合せ先 〒700-0005 岡山県岡山市理大町1-1 Tel:086-256-8485
岡山理科大学 情報処理センター内
日本教育情報学会第22回年会実行委員会
実行委員長 大西 荘一 (E-mail: onishi@mis.ous.ac.jp)

第1号議案に関する説明資料

2005年度事業報告書(自2005年4月1日 至2006年3月31日)

2005年度に実施した事業は次のとおりである。

1. 機関誌の発行・配布
 - ・学会誌「教育情報研究」第二十一巻第一号・第二号・第三号(B5版・季刊)を発行した。
 - ・「News letter」(会報) No. 113~No. 116を刊行した。
2. 総会・役員会等の開催
 - ・第21回定時総会, 第24回理事会, 第17回評議員会(2005年8月20日)を開催した。
 - ・役員選考委員会(2005年7月5日)を開催した。
 - ・運営委員会を11回開催した。
3. 研究会等の開催等
 - ・第21回年会(2005年8月20日・21日)を滋賀県で開催した。
 - ・日本教育情報学会賞の表彰式を行った。
 - ・デジタル・アーキビスト資格検討会(デジタル・アーキビストの養成)に参画した。
 - ・深谷基金教育情報研究プロジェクトの募集・選考を行い, 1件を採択した。
 - ・財団法人 松下教育研究財団の委託を受け, 調査研究を行った。
 - ・「21世紀の教育を考える会」, 「教育情報セミナー2005」, 「ネット社会に必要とされる教師の資質と情報活用能力」等の研究会を後援した。

2005年度収支計算書(自2005年4月1日 至2006年3月31日現在)

1. 収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差額
1 会 費	3,585,000	3,068,000	517,000
(1) 専門会員費	1,800,000	1,460,000	340,000
(2) 一般会員費	1,400,000	1,225,000	175,000
(3) 賛助会員費	0	0	0
(4) 公共会員費	345,000	315,000	30,000
(5) 学生会員費	40,000	68,000	-28,000
2 入 会 金	40,000	41,000	-1,000
3 寄 付 金	0	0	0
4 雑 収 入	500,000	1,237,508	-737,508
(1) 過年度会費	300,000	471,000	-171,000
(2) その他の雑収入	200,000	766,508	-566,508
5 前年度繰越収支差額	436,482	436,482	0
収入合計	4,561,482	4,782,990	-221,508

注) その他の雑収入766,508円のうち, 600,000円は調査研究委託費

2. 支出の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差額
1 管理費支出	2,140,000	1,699,652	440,348
(1) 会 議 費	130,000	78,274	51,726
(2) 旅費・交通費	850,000	706,380	143,620
(3) 通信・運搬費	700,000	431,640	268,360
(4) 消耗品費	20,000	14,391	5,609
(5) 印刷・製本費	280,000	199,900	80,100
(6) 諸 謝 金	50,000	128,130	-78,130
(7) 雑 費	110,000	140,937	-30,937
2 事業支出	2,410,000	2,780,189	-370,189
(1) 総 会	0	0	0
(2) 機 関 誌	1,900,000	1,678,241	221,759
(3) 研 究 会	510,000	1,101,948	-591,948
3 予 備 費	0	0	0
支出合計	4,550,000	4,479,841	70,159
次年度繰越収支差額	11,482	303,149	-291,667

注) 研究会1,101,948円には, 調査研究委託費600,000円を含む

第2号議案に関する説明資料

2006年度事業計画（案）（自2006年4月1日 至2007年3月31日）

2006年度に実施する事業は次のとおりである。

1. 機関誌の発行・配布

- ・学会誌「教育情報研究」第二十一巻第四号・第二十二巻第一号・第二号・第三号・第四号（B5判・季刊）を発行する。
- ・「News letter」（会報）No. 117～No. 122を刊行する。

2. 総会・役員会等の開催

- ・第22回定時総会を開催する。
- ・第25回理事会，第18回評議員会を開催する。
- ・運営委員会を開催する。

3. 研究会等の開催等

- ・第22回年会（2006年8月26日・27日）を岡山県で開催する。
- ・デジタル・アーキビストの研究会を開催する。
- ・日本教育情報学会賞の表彰を行う。
- ・深谷基金教育情報研究プロジェクトによる調査研究を行う。
- ・その他「教育の情報化」について等の研究会を計画する。

4. 事務局の移転

- ・運営本部事務局を2006年4月1日から岐阜女子大学文化情報研究センターに移転する。

2006年度収支予算書（案）（自2006年4月1日 至 2007年3月31日現在）

1. 収入の部

（単位：円）

科目	予算額	備考
1 会 費	3,115,000	
(1) 専門会員費	1,500,000	10,000円×150人
(2) 一般会員費	1,225,000	7,000円×175人
(3) 賛助会員費	0	100,000円×0
(4) 公共会員費	330,000	15,000円×22団体
(5) 学生会員費	60,000	4,000円×15人
2 入 会 金	40,000	40人
3 寄 付 金	0	
4 雑 収 入	450,000	
(1) 過年度会費	300,000	
(2) その他の雑収入	150,000	
5 前年度繰越収支差額	303,149	
収入合計	3,908,149	

2. 支出の部

（単位：円）

科目	予算額	備考
1 管理費支出	1,590,000	
(1) 会議費	50,000	運営委員会，各部門会議など
(2) 旅費・交通費	500,000	運営委員会など
(3) 通信・運搬費	500,000	機関誌発送費40万，事務連絡他10万円
(4) 消耗品費	70,000	
(5) 印刷・製本費	250,000	封筒，会員証など
(6) 諸謝金	100,000	機関誌発送，データ入力
(7) 雑費	120,000	コピー代，手数料など
2 事業支出	2,310,000	
(1) 総 会	0	第22回定時総会
(2) 機 関 誌	1,800,000	教育情報研究，Newsletter
(3) 研 究 会	510,000	年会実行委員会50万，学会賞運営委員会1万，研究会0万円
3 予 備 費	8,149	
支出合計	3,908,149	
次年度繰越収支差額	0	

第3号議案に関する説明資料

役員（監事）に欠員が生じておりますので、定款第31条4項に基づき、監事の選任を行います。

現在

監事（定員2名 欠員1名）
秋山 昭八（秋山法律事務所所長）

監事候補者

有菌 格（星槎大学教授）

なお、任期は、現役員と同様2007年11月14日までになります。

また、有菌氏は現在理事としてご活躍いただいておりますが、監事として承認された場合、理事の任を解かれます。したがって、承認後の理事は17名となります。

-第22回年会ご案内-

○参加申込方法

研究発表の有無にかかわらず、年会に参加される方は年会参加申込書（郵便振替用紙）で、参加申込をしてください。

同封の郵便振替用紙が申込書を兼ねます。必要項目を記入し、郵便局の窓口またはATM、APMで手続きください。手数料は1万円まで100円（ATM・APMご利用は60円）になります。同封の郵便振替用紙を紛失した場合、または追加用紙が必要な場合は、郵便局備付けの用紙をご利用ください。

なお、期日を過ぎた場合は、当日会場受付でお支払いください。その場合、参加費は当日扱いとなります。

○参加申込締切（郵便局窓口期限） 2006年8月8日（火）

郵便振替口座番号 01300-0-37675

口座名 日本教育情報学会第22回年会

（学会本部事務局の口座とは異なりますので、ご注意ください）

○参加費

- ・会員事前申込締切日まで 参加費3,000円 論文集3,000円 懇親会費5,000円
 - ・会員（当日）・非会員 参加費4,000円 論文集3,000円 懇親会費5,000円
- ※論文集は、年会当日受付にてお渡しいたします

・後援関係の方

岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、岡山県にお勤めの現職教員の方の参加を歓迎します。この方の参加費は無料とします。（大学教員を除く）なお、論文集代は申し受けます。当日、会場内の「年会岡山県関係受付」にお越しください。

・論文集の郵送申込について（年会に参加されない方）

年会に参加されないで論文集を購入希望の方は、参加申込書の該当欄にご記入の上、申込をしてください。年会終了後論文集を送付いたします。

論文集 3,500円（郵送費、事務諸経費を含む）

○宿泊について

- ・宿泊に関しましては、各自で手配いただきますよう、お願い申し上げます。
- ・岡山市から助成金をいただいている関係上、ホテルに宿泊時にホテルのフロントにて日本教育情報学会の関係者と伝えて下さい。
- ・年会情報及び岡山情報はこちらをご覧ください。
<http://mascot.mis.ous.ac.jp/jhp/>

日本教育情報学会第 22 回年会 プログラム概要

シンポジウム

基調講演 「国際環境専門家の育成における情報教育」

山本秀樹（岡山大学大学院環境学研究科・助教授）

〔趣旨〕 21 世紀に世界的な課題となる感染症，貧困，紛争などのグローバルな課題に対して，日本は貢献する必要があります。とりわけ，「Mottainai」という言葉が世界で認知されてきたように，持続可能な世界を作るための環境分野は最重点課題です。このような問題に誰もが納得できる科学的根拠のある情報を提示できる国際的に通用する環境専門家が必要です。その中でも，地球温暖化によるマラリアが増加することへの対策に示されるように，「いのち」をまもる視点が重要です。わが国は国連の予算の 20% を負担していますが，日本人国連職員は適正数の半分以上です。

岡山大学では平成 17 年度に医学・情報科学の専門家が参画した環境学研究科を開設し国際的に通用する環境専門家の育成を始めました。岡山は多くの国連機関のあるジュネーブを目指して国際貢献条例が制定され，ユネスコの持続可能な開発のための教育（ESD）のモデル地域（世界で 10 箇所）にも指定されています。地域における国際貢献の取り組みを大学院プログラムにとり入れていますが，IT（人工衛星を活用した e-learning，GIS,RS 等）は不可欠なツールであり，教育プログラムの中での IT 教育は重要です。今後，「エコインフォマティクス」への発展が期待され，医師で，IT にも造詣が深く国際貢献を実践しておられる山本秀樹先生にお話していただきます。

パネル討論 「e-learning による連携教育の課題と将来」

〔コーディネータ〕 大西 荘一（岡山理科大学情報処理センター・所長）

〔パネリスト〕 木村 宏（岡山理科大学・副学長）

林 徳治（山口大学教育学部・教授）

横山 隆光（岐阜県羽島市立羽島中学校・校長）

〔コメンテータ〕 中野 秀男（大阪市立大学大学院創造都市研究科・教授）

小宮 正巳（NTT ドコモ NW 企画部・主査）

Davar Pishva（カーネギーメロン大学日本校・講師）

〔趣旨〕 ブロードバンド・インターネットの普及や IT 技術の高度化により教育の IT 化が進んでいます。e-learning は地理的な距離や時間に制約されない教育環境を提供し，地理的に離れている様々な組織や学習時間帯が異なる様々な人に教育を提供することが可能です。e-learning のこれらの特徴を利用した連携教育の取り組みが各所で行われており，今回，その連携の仕組み，教育効果，課題，将来について，連携教育を実践されているパネリストの方々に報告していただきます。

木村先生には岡山理科大学が取り組んでいる高大連携と大大連携を融合した Cyber Campus について，林先生には海外との連携教育について，横山先生には地域の小学校，中学校，高等学校の連携について，それぞれご紹介いただき，会場の参加者と議論をし，さらなる発展のために課題を抽出し，将来を展望できればと思います。

課題研究

課題1 遠隔授業による教育の連携 コーディネータ 大西荘一(岡山理科大)

26日(土) 10:00~12:10 A会場

ブロードバンド・インターネットの普及により、動画像や音声を配信する遠隔授業が現実的になってきました。今まで、地理的距離の問題で日常的な教育の連携が難しかったが、遠隔授業により可能になってきました。小、中、高、大の学校間や学校と地域、また海外との連携などさまざまな連携が考えられます。実践事例からの課題の抽出、教育効果を上げるための工夫、遠隔授業システムや組織等について議論することにより効果的な遠隔授業による教育の連携を検討します。

課題2 情報技術による教育のユニバーサル化 ~特別支援教育の向上を目指して~

コーディネータ 太田容次(国立特殊教育総合研究所)

27日(日) 13:00~15:10 B会場

27日(日) 15:20~17:30 B会場

ICTの高度化が進みマルチメディア教材が普及してきています。それにより、教育方法も多彩になり教育効果の向上が期待されています。このような状況において、マルチメディア技術を駆使した知的障害や広汎性発達障害の方に分かりやすい教材の開発とともに教育のユニバーサル化をどのようにすればよいかを提案し議論します。

課題3 教育支援システム コーディネータ 白川雄三(大阪学院大)

27日(日) 13:00~15:10 A会場

27日(日) 15:20~17:30 A会場

最近のインターネットの発展とともに、教育支援システムも大きく変化してきました。Webを使用した e-learning システムなどもその一つと言えます。また、携帯電話の急速な普及と、それに伴うメールの利用なども、新たな教育支援システムとして、使用されています。さらに、今までの学生証にかわるICカードシステムも普及のきざしをみせています。このようにさまざまな新しいソフトウェア・ハードウェアが、教育支援に利用されてきています。これらの教育支援システムについて、教育効果や利便性などを議論します。

課題4 教育で利用する情報をより使い易くするには~どのような案内情報が必要か~

コーディネータ 加藤直樹(岐阜大)・井上 透(国立科学博物館)

26日(土) 10:00~12:10 C会場

家庭・学校・学習施設・博物館・生涯学習施設等で、教材、学習材、学習の方法、指導案、カリキュラム、学習機会、人材(指導者)、学習グループ、さらに学習結果など、学習に関する情報の効果的な管理・利用が叫ばれています。教員や学習者の立場に立って、どのような案内情報を付加し共通して利用できるように管理すればよいか、またそれらの情報が、どのように活用できるかについて議論し、今後の課題を提案・検討します。これをもとに、学校、教育施設における学習管理システムの方向性を考えます。

課題5 学校教育での情報の取扱い方の現状と課題

~学校から卒業アルバム、家庭連絡、地域教材を無くしてもよいか~

コーディネータ 坂井知志(常磐大)

コメンテータ 岡本 哲(岡本法律事務所・弁護士)

27日(日) 10:00~12:10 A会場

教育委員会、学校、家庭、教育施設等で扱う情報の共有、公開を考えた場合、例えば卒業アルバムの氏名、家庭間の連絡網、職員会議の記録、人材情報などは、プライバシー、個人情報

報，著作権などの観点から慎重に取り扱わなければならない重要な課題となっています。これらは，教員，校長，指導主事等の教育関係者，保護者など一人ひとりの問題でもあります。また，文化の伝承とよりよい人の育成を考える観点から教育に関する情報の共有化や利用をいかに考えるべきかを教育実践事例をもとに議論し，現状や解決すべき課題を提案し，今後の教育情報の活用の方向性を考察します。

課題6 情報社会における教育の方法と評価

コーディネータ・座長 沖 裕貴（立命館大）
27日（日） 13：00～15：10 C会場

社会や学校の急速な情報化の進展に対して，旧来の教育方法や教育評価はどのように対応しているのか。一見華やかな目新しい情報機器だけに振り回され，基本となる教育方法の開発が疎かになったり，適切な教育評価が置き去りにされてはいないか。また，情報モラルやコミュニケーション能力，批判的思考力や自主性など，情報社会でこそ重視される能力にはいかなる教育方法や教育評価が可能かを，研究実践事例を元に考えたい。

一般研究発表のセッション

(1)e-Learning	27日（日）	10：00～12：10	C会場
(2)教材コンテンツ	26日（土）	10：00～12：10	B会場
(3)教育方法・授業分析・学習評価(1)	26日（土）	10：00～12：10	E会場
(2)	27日（日）	10：00～12：10	D会場
(3)	27日（日）	13：00～15：10	D会場
(4)アーキビストの養成	27日（日）	15：20～17：30	E会場
(5)教育データベース(1)	27日（日）	10：00～12：10	E会場
(2)	27日（日）	13：00～15：10	E会場
(6)教育に関する調査研究及び社会貢献活動	27日（日）	10：00～12：10	B会場
(7)大学教育(1)	26日（土）	10：00～12：10	D会場
(2)	27日（日）	15：20～17：30	D会場

日本教育情報学会第 22 回年会

プログラム詳細

発表一覧

申込みを付けている発表（講演者・題目）は、以下の通りです。

（課題研究 1） 遠隔授業による教育の連携

26日（土） 10:00～12:10 A会場
コーディネータ・座長 大西荘一(岡山理科大)

-
- 1 A 1 TV 会議システムを活用した遠隔授業等の実践と問題点
～3 県連携 IT 交流事業の実践を通して～
岸 誠一・土肥直樹・河崎富雄(岡山県情報教育センター),
熊代 徹(岡山工業高校)
 - 1 A 2 5 年目を迎える岡山理科大学との単位認定を伴う高大連携遠隔授業
大島 修(鴨方高等学校)
 - 1 A 3 アメリカと日本の大学間を結ぶ最新の遠隔教育制度
～その有効性及び今後の課題について～
Davar Pishva(カーネギーメロン大学日本校)
 - 1 A 4 DVTS (高速デジタルビデオ画像通信システム) を利用した遠隔医療用画像・音声通信実験
河原研二(岡山大学大学院)
 - 1 A 5 大阪市立大学におけるインターネット講座
中野秀男(大阪市立大学大学院)
 - 1 A 6 遠隔授業による日本とアフガニスタン及びモルジブとの教育連携
小宮正巳(MIT21 (NTT ドコモ)), 山本秀樹(岡山大学大学院),
小川直美(対話プロジェクト), 梅沢良夫(NTT ドコモ)

（一般研究 2） 教材コンテンツ(1)

26日（土） 10:00～12:10 B会場
座長 安藤久夫(岐阜女子大), 岩崎彰典(岡山理科大)

-
- 1 B 1 高等教育における情報教科の導入に伴う理系大学の情報リテラシーコンテンツの開発
岩崎彰典(岡山理科大)
 - 1 B 2 CD 再生時による外乱及び発生する干渉の解析
林川基治(山口大)
 - 1 B 3 IT を仲立ちとした人と人とのコミュニケーション教育へのブログ活用の試み
川田博美(名古屋女子大)
 - 1 B 4 自主学習に適した英検 web 教材の開発
橋本信也(中部大学大学院), 尾崎正弘・足達義則(中部大),
杉村 藍・武岡さおり・小山幸治(名古屋女子大)
 - 1 B 5 教育活動を効率的に支援できるウェブサイトの簡単な構築方法と利用方法の例示
小山万作(深沢小学校), 佐々木康雄(駒繁小学校),
片桐賢二(京西小学校), 坂井岳志(八幡小学校),
秋田敏文(弦巻小学校), 久泉幸正・鳥羽 純 (東深沢小学校),
松本正尊(花見堂小学校), 成田知代(東玉川小学校)
 - 1 B 6 携帯電話で動く教材の作成・Flash Lite を使って
坂井岳志(八幡小学校)

- 1 B 7 楽しく学ぶもの作りの教材の開発Ⅲ
安藤久夫・伊藤奈賀子(岐阜女子大),
松野光暢・竹中洵治(NPO 法人地域資料情報化コンソーシアム),
佐藤正明(岐山高等学校)

**(課題研究4) 教育で利用する情報をより使い易くするには
～どのような案内情報が必要か～**

26日(土) 10:00～12:10 C会場
コーディネータ・座長 加藤直樹(岐阜大), 井上 透(国立科学博物館)

-
- 1 C 1 学生参画型授業モデルの開発に関する実証研究(2)
～強制連結法を活用した教材のVisual化による学習効果～
藤本光司(長尾中学校), 林 徳治(山口大), 沖 裕貴(立命館大)
- 1 C 2 サイエンスミュージアムネットを活用した博物館デジタル・アーカイブスの流通
井上 透(国立科学博物館)
- 1 C 3 デバイス中立なフォーム記述言語を用いたマークシート式調査システムの開発と運用
久保裕也(千葉商科大)
- 1 C 4 女性情報ポータル機の機能要件の検討と構築
安達一寿(十文字学園女子大), 青木玲子(埼玉県男女共同参画推進センター),
尼川洋子・森 未知(女性教育会館), 大西祥世(地方自治総合研究所),
- 1 C 5 学校グループウェアを活用した教員間協働による生徒理解の広がり
鳥海 健・森棟隆一(東京学芸大学附属高等学校),
荒川信行(三木小学校), 石出 勉(九段中等教育学校),
安井浩之(武蔵工業大)
- 1 C 6 教職員等中央研修講座における参画型教員研修の設計と評価
林 徳治(山口大), 沖 裕貴(立命館大), 井上史子(川西中学校)

(一般研究7) 大学教育(1)

26日(土) 10:00～12:10 D会場
座長 黒川マキ(大阪学院大), 北村光一(山口大学大学院)

-
- 1 D 1 大学 JABEE 科目における学生参画型授業の設計と評価
林 徳治(山口大), 沖 裕貴(立命館大), 黒川マキ(大阪学院大)
- 1 D 2 セルフエスティームと対人コミュニケーション能力及び対人欲求との関連について
中谷有花・井上 毅・宮田 仁(滋賀大)
- 1 D 3 高大連携の体系的情報教育と教科「情報」の関連及びカリキュラム方向性
本村猛能(川村学園女子大), 工藤雄司(筑波大学附属坂戸高等学校)
- 1 D 4 オーディエンスに着目した効果的なプレゼンテーション技術の実証研究(2)
～大学生を対象とした非言語的
行動の分析～
黒川マキ(大阪学院大), 林 徳治(山口大)
- 1 D 5 ストリーミングコンテンツとリフレクションデータベースの活用による
大学授業の改善に関する研究(3)
石丸雄一郎・宮田 仁(滋賀大)
- 1 D 6 空間把握を題材とした相互出題方式による情報伝達能力育成支援の試み(2)
高谷知憲(滋賀大学大学院), 宮田 仁(滋賀大), 香山瑞恵(専修大)
- 1 D 7 新 Caddie システムに関する研究
白川雄三(大阪学院大)

(一般研究3) 教育方法・授業分析・学習評価(1)

26日(土) 10:00~12:10 E会場
座長 河野敏行(岡山理科大), 宮地 功(岡山理科大)

-
- 1 E 1 グループ学習における話し合いによる意識変容
宮地 功(岡山理科大)
- 1 E 2 学生の授業評価に対する報告 ~モチベーションの差による影響~
片山章郎(順正短期大)
- 1 E 3 教育の情報化とは何か?を学生にどう伝えるか ~モデルとなる模擬授業を通じて~
松本宗久(大阪学院大学高等学校)
- 1 E 4 空間的知能とその表現方法の教育についての一考察
~「情報」科の可能性にかかわって~
吉井直子(平城高等学校)
- 1 E 5 小学校国語科における情意領域に関する授業研究
藤 雪麗(山口大学大学院), 林 徳治(山口大)
- 1 E 6 学生のコンピューター利用に対するモチベーションについての調査研究
木村三千世・斎藤敏之(四天王寺国際仏教大)
- 1 E 7 e-Learning メディア・ミックスによる自主・共同学習システムの開発
ナッチャ・パワサッチャナン(京都教育大学大学院),
山田公成(京都教育大学付属高等学校), 佐々木真理(京都教育大)
- 1 E 8 記号論理学を主体とする教科「情報」の科学的理解の在り方
工藤雄司(筑波大学附属坂戸高等学校), 本村猛能(川村学園女子大)

(課題研究5) 学校教育での情報の取扱い方の現状と課題

~学校から卒業アルバム, 家庭連絡, 地域教材を無くしてもよいか~

27日(日) 10:00~12:10 A会場
コーディネータ・座長 坂井知志(常磐大)
コメンテータ 岡本 哲(岡本法律事務所・弁護士)

-
- 2 A 1 初等中等教育における教育情報の取り扱いについて
~教育行政から見た現状と課題~
植木進策・川島由久(宝塚市立教育総合センター), 藤本光司(長尾中学校),
林 徳治(山口大)
- 2 A 2 学校教育のプライバシー, 個人情報の現状に関する調査
~学校・学級経営や学習指導での課題~
横山隆光(羽島中学校), 佐藤正明(岐山高等学校),
安井智恵・有菌 格(岐阜女子大)
- 2 A 3 小学校がもつプライバシー, 個人情報の課題
~メディアによる授業からアルバムまでの取り扱いの現状~
前田志郎(昭和小学校)
- 2 A 4 学校関連情報扱いに関する一考察
~学校の社会的価値とステークホルダの観点から考える~
豊福晋平(国際大)
- 2 A 5 遠隔教育における法律問題
岡本 哲(岡本法律事務所・弁護士)
- 2 A 6 コメンテータからのコメント及び質疑応答
岡本 哲(岡本法律事務所・弁護士)

(一般研究6) 教育に関する調査研究及び社会貢献活動

27日(日) 10:00~12:10 B会場
座長 赤松辰彦(株式会社 尊徳)

-
- 2B1 アンケート結果からみる校務情報化の現状と課題
豊福晋平(国際大)
- 2B2 「持続可能な開発のための教育」とその教育への効果とICTの応用の可能性
土生真弘(岡山大学大学院)
- 2B3 ユネスコ協同学校計画「国際理解と国際協力のための教育」における
教育実験内容について
高田準一郎(広島大学附属高等学校), 林 徳治(山口大)
- 2B4 企業における環境教育への取り組み(1)
赤松辰彦(株式会社 尊徳), 三松吉秀(株式会社 ミマツ),
日本ゼロリユース協議会
- 2B5 中国におけるICTを利用した教育の現状と課題
～黒龍江省佳木斯市第十九中学校の事例～
付 婷 婷(フ テイ テイ)(山口大学大学院), 林 徳治(山口大)
- 2B6 地域から親近感をもてる学校づくり
～山口県須金中学校の実践事例～
霜川正幸(山口大)
- 2B7 「利用に刺激された基礎研究」をめぐる議論と教育情報学の
学問アイデンティティ・パラダイム・ユニバーサリティ
澤田敬人(静岡県立大)
- 2B8 子どもたちのITに関する調査研究
藤原昌樹・斎藤瑯郎・本郷 健・本村猛能(川村学園女子大)

(一般研究1) e-Learning

27日(日) 10:00~12:10 C会場
座長 加藤直樹(岐阜大), 河野敏行(岡山理科大)

-
- 2C1 加計グループのe-learningへの取り組み
青嶋 智・山本敏弘(岡山理科大学大学院)
大西荘一・榊原道夫・河野敏行(岡山理科大),
- 2C2 コンピュータリテラシー教育におけるEラーニングの活用
河野敏行(岡山理科大)
- 2C3 算数を核とした遠隔協同総合学習の試行
佐々木真理・渡邊伸樹・守屋誠司(京都教育大), 中江ひとみ(安祥小学校)
- 2C4 ドリルタイプのWBTにおける学習の特徴
木下昭一(聖徳大)
- 2C5 ブレンディング型e-learning学習支援システムを利用したプログラミング演習
中尾茂子・安達一寿・北原俊一・新行内康慈(十文字学園女子大),
橋本健志(合資会社 風夢)
- 2C6 ブレンディング型授業に適したe-learningシステムの機能の検討
北原俊一・安達一寿・中尾茂子・新行内康慈(十文字学園女子大),
橋本健志(合資会社 風夢)
- 2C7 AIMS-Gifuを活用した授業方法の開発と評価(3)
～全入学生に対する情報活用とモラルの指導～
加藤直樹・村瀬康一郎・興戸律子(岐阜大)

- 2 C 8 生涯学習における e-learning の活用：OIDE 研究会の挑戦
和田和子・小松久美子(大阪市立大学大学院),
大西克実・中野秀男(大阪市立大)

(一般研究3) 教育方法・授業分析・学習評価(2)

27日(日) 10:00~12:10 D会場

座長 本郷 健(川村学園女子大), 横田 学(京都市立芸術大)

-
- 2 D 1 情報のつながりに着目した授業の設計(1) ~美術鑑賞ソフトウェアの開発~
横田 学・谷口由美子(京都市立芸術大)
- 2 D 2 情報のつながりに着目した授業の設計(2) ~実践結果の分析と今後の展開~
谷口由美子・横田 学(京都市立芸術大)
- 2 D 3 DV-X α 分子軌道計算プログラムと三次元可視化システム VENUS の
大学基礎化学教育での活用
坂根弦太(岡山理科大)
- 2 D 4 体験から学ぶ IT 教育の効果 ~手作りロボットによるアルゴリズム教育~
稲毛 順(合資会社 わらべごころ)
- 2 D 5 擬似ウィルスを使った情報セキュリティスキルアッププログラムの研究
木村 聡(株式会社 エス・シー・ラボ)
- 2 D 6 知の総合化を重視した総合的な学習の工夫改善
~教科等との関連を図り、自己の良さ(成長)に気づく支援と評価の工夫を通して~
高良貴美子(小祿南小学校)
- 2 D 7 国際交流学习と外国人子女教育の取り組み ~国際教育の未来へ向けて~
高木浩志(高司中学校)
- 2 D 8 分散处理的なものの見方・考え方を学ぶためのカリキュラムの改善に関する研究
本郷 健(川村学園女子大), 近藤邦雄(埼玉大)

(一般研究5) 教育データベース(1)

27日(日) 10:00~12:10 E会場

座長 北川文夫(岡山理科大), 谷口知司(岐阜女子大)

-
- 2 E 1 教育研究資料のデジタル・アーカイブ化について3
~「木田宏オーラルヒストリー」の情報構成~
谷 里佐(岐阜女子大),
白木 希・久田由莉・大澤浩子・根本亜弥・張 恵琴(岐阜女子大学大学院)
- 2 E 2 道の駅のデジタル・アーカイブ化を用いた地域文化情報資源活用の研究
白木 希・久田由莉(岐阜女子大学大学院),
加藤真由美・久世 均・谷口知司・後藤忠彦(岐阜女子大)
- 2 E 3 デジタル・アーカイブの構成・利用に関する評価
根本亜弥・原 香・神谷重毅・野村明文(岐阜女子大学大学院),
谷口知司・三宅茜巳・久世 均(岐阜女子大)
- 2 E 4 文化活動等のデジタル・アーカイブ化のための多方向同時撮影について
~共同利用を目的とした映像情報の記録~
久田由莉・白木 希・根本亜弥・大澤浩子(岐阜女子大学大学院),
三宅茜巳・谷口知司・後藤忠彦(岐阜女子大),
松野光暢(NPO 法人地域資料情報化コンソーシアム)

- 2 E 5 多方向同時記録資料のデータベース化とその活用
林 知代・加藤真由美・林 真子・後藤忠彦・谷口知司・三宅茜巳(岐阜女子大),
久田由莉・白木 希・稲垣道子(岐阜女子大学大学院)
- 2 E 6 共同利用を目的とした教育資料管理システムの整備(1)
～地域の学校で資料の共同制作・利用～
桐井和美(岐阜女子大学大学院),
林 知代・後藤忠彦・久世 均(岐阜女子大),
瀬ノ上 裕(白川中学校)
- 2 E 7 投稿型古写真データベースシステムの大学授業への活用
北川文夫(岡山理科大), 鈴木榮一(フリー),
山根知子(ノートルダム清心女子大)

(課題研究3) 教育システム(1)

27日(日) 13:00～15:10 A会場
コーディネータ・座長 白川雄三(大阪学院大)
座長 村瀬康一郎(岐阜大)

-
- 3 A 1 LMS をベースにした教員養成コアカリキュラム授業科目の共同開発
村瀬康一郎・加藤直樹・益子典文・松原正也・興戸律子(岐阜大),
南部昌敏(上越教育大)
- 3 A 2 WBT システム(eL-倶楽部)とインターネットを利用した教材共同開発環境
荒 義明(善行小学校), 堀口秀嗣(常盤大), 前田真人(電子開発学園),
小林祐光(大宮中央高等学校)
- 3 A 3 WBT システム(eL-club)と e-mail を利用した個別学習の支援について
～通信制高校における理科教育の実践より～
小林裕光(大宮中央高等学校), 堀口秀嗣(常盤大),
前田真人(電子開発学園), 荒 義明(善行小学校)
- 3 A 4 iHORBP2P ミドルウェアを用いた教育情報システムの提案
畷 智徳・梶房秀章・社 恒(岡山理科大学大学院),
大西荘一(岡山理科大), 西本圭佑(有限会社 アイトレック)
- 3 A 5 生徒情報管理システムを活用した学校改革
森 健太郎(岡山学芸館高校),
江本和史(ファルコンシステムコンサルティング株式会社)
- 3 A 6 スマートフォンで実現するユビキタス学習形態～スタディノートポケット～
岡田啓二(シャープシステムプロダクト株式会社)
余田義彦(同志社女子大), 山野井一夫(筑波学院大)

(課題研究2) 情報技術による教育のユニバーサル化

～特別支援教育の向上を目指して～(1)

27日(日) 13:00～15:10 B会場
コーディネータ・座長 太田容次(国立特殊教育総合研究所)
座長 大杉成喜(滋賀大学附属養護学校)

-
- 3 B 1 障害児者用日本語版高度シンボル・コミュニケーション・デバイスの試用と評価
大杉成喜(滋賀大学附属養護学校), 佐原恒一郎(袖ヶ浦養護学校)
- 3 B 2 特別支援教育における自閉症児童のコミュニケーション支援
原 宏和(八日市養護学校)

- 3 B 3 特別支援教育で電子掲示板を利用した場合の
コミュニケーション活性化に関する一考察(3)
石部和人・大杉成喜・木村政秀・辻野賢治・西堀二郎(滋賀大学附属養護学校),
太田容次(国立特殊教育総合研究所), 宮田 仁(滋賀大)
- 3 B 4 湖南省発達支援 IT ネットワーク(KIDS)の今後の構想
西谷 淳(湖南省社会福祉課発達支援室), 服部昌美(湖南省社会福祉課)
- 3 B 5 e-portfolio を利用した振り返り支援に関する一考察(2)
太田容次(国立特殊教育総合研究所), 石部和人(滋賀大学附属養護学校),
木村政秀・辻野賢治・西堀二郎(滋賀大学附属養護学校),
宮田 仁(滋賀大)
- 3 B 6 特別支援教育における合奏支援の情報共有
佐原恒一郎(袖ヶ浦養護学校)

(課題研究6) 情報社会における教育の方法と評価(1)

27日(日) 13:00~15:10 C会場
コーディネータ・座長 沖 裕貴(立命館大)

-
- 3 C 1 実践的態度の育成を目指した情報モラル教育に関する実証研究
林 泰子(頌栄人間福祉専門学校), 北川敬一(高槻北高等学校),
藤本光司(長尾中学校)
- 3 C 2 教育PCM手法を活用した評価プログラムの実証研究
武田正則(東根工業高等学校)
- 3 C 3 高等学校数学科における教員研修プログラムの開発
~教授学習におけるコミュニケーション能力の育成~
北村光一(山口大学大学院)
- 3 C 4 より抽象的な言語象徴を基盤にした学習に対応できない生徒への学習方法の開発
~強制連結法を用いて~
奥野雅和(京都文教中学高等学校), 藤本光司(長尾中学校)
- 3 C 5 大学共通教育における学生参画型授業の設計と評価
林 徳治(山口大), 沖 裕貴(立命館大), 黒川マキ(大阪学院大)
- 3 C 6 対面講義と e-learning とを併用した講義形式の実践報告
北川文夫・大西荘一(岡山理科大)

(一般研究3) 教育方法・授業分析・学習評価(3)

27日(日) 13:00~15:10 D会場
座長 久世 均(岐阜女子大), 成瀬喜則(富山商船高等専門学校)

-
- 3 D 1 教育用コンテンツの利用とその教育的効果
高納成幸(大垣北高等学校), 片桐郁至(大垣商業高等学校),
亀山 弘(羽島高等学校), 河渡祐一・菅井 修(岐阜各務野高等学校),
久世 均(岐阜女子大),
- 3 D 2 合理的な意思決定のための ICT 活用学習
成瀬喜則(富山商船高等専門学校)
- 3 D 3 高大連携授業によるデジタル・アーキビストの養成
菅井 修・渡邊泰治・矢野裕一郎・河渡祐一(岐阜各務野高等学校),
久世 均(岐阜女子大)

- 3 D 4 情報科におけるデジタルアーキビストの養成と知的財産権
片桐郁至(大垣商業高等学校), 亀山 弘(羽島高等学校),
河渡祐一・菅井 修(岐阜各務野高等学校),
高納成幸(大垣北高等学校), 久世 均(岐阜女子大),
- 3 D 5 南中実験を通じた体感観測と創造性の開発 I
久世 均・林 知代(岐阜女子大), 佐藤正明(岐山高等学校), 横山隆光(羽島中学校),
鳥飼明史・松野光暢(NPO法人地域資料情報化コンソーシアム)
- 3 D 6 動植物観察における公園資源の活用
坂本徳弥(十日市場小学校)
- 3 D 7 高等学校教科「情報」の履修内容と大学入学後の情報に関する意識や成績との関係の分析
立野貴之(獨協大), 加藤尚吾(早稲田大), 加藤由樹(東京福祉大)
- 3 D 8 課題解決力に関わる他資質能力との相関
藤崎雅行・林田廣伸(共立女子大), 城 一夫(共立女子短期大)

(一般研究5) 教育データベース(2)

27日(日) 13:00~15:10 E会場
座長 三宅茜巳(岐阜女子大), 谷口知司(岐阜女子大)

-
- 3 E 1 航空写真に基づく河川データベースの構築
久保田耕太郎(岡山理科大学大学院), 劉 渤江(岡山理科大)
- 3 E 2 知的創造サイクルの一環としてのデジタル・アーカイブズの研究
谷口知司・三宅茜巳・後藤忠彦(岐阜女子大),
神谷重毅・大澤浩子・久田由莉(岐阜女子大学大学院)
- 3 E 3 世界遺産白川郷和田家のデジタル・アーカイブ化について
大澤浩子・稲垣道子(岐阜女子大学大学院),
和田正人(和田家館長),
谷 里佐・林 知代・久世 均・後藤忠彦(岐阜女子大),
- 3 E 4 文化活動の共同利用を目的としたデジタル・アーカイブ化
～より多くの人の利用を目的とした素材の収集・管理について～
稲垣道子・桐井和美(岐阜女子大学大学院),
谷口知司・三宅茜巳・後藤忠彦(岐阜女子大)
- 3 E 5 オーラル・ヒストリーを用いた沖縄文化デジタル・アーカイブズの構成
張 惠琴・高良貴美子(岐阜女子大学大学院), 中野裕子,
仲本 賽(宣野湾市文化協会), 谷 里佐・後藤忠彦(岐阜女子大),
新垣英司(嘉数小学校)

(課題研究3) 教育システム(2)

27日(日) 15:20~17:30 A会場
コーディネータ・座長 白川雄三(大阪学院大) 座長 宮田 仁(滋賀大)

-
- 4 A 1 知識共有をめざした多人数講義をサポートする
写メールデータベースシステムの開発とその効果
宮田 仁(滋賀大)
- 4 A 2 IC携帯・ICカード利用による出席管理システム2
白川雄三・高橋 誠(大阪学院大), 前川幸一(株式会社 NTT ドコモ関西)
- 4 A 3 係り受け解析を用いた空欄補充問題作成支援システム
梶山智史(岡山理科大学大学院), 山田優樹(株式会社 サンリツ),
椎名広光(岡山理科大)

- 4 A 4 学習者の理解度に反応する自動出題システムの開発
矢野口 聡(松本大)
- 4 A 5 e-Learning コンテンツ作成を支援する
オーサリングツール「Mamakari Tools」の開発について
西本圭佑((有)アイトレック), 大西荘一・榊原道夫(岡山理科大)
- 4 A 6 USB カメラを利用した実習教育支援
清水憲二・中島美雪・中ノ瀬千尋(東京文化短期大)

**(課題研究 2) 情報技術による教育のユニバーサル化
～特別支援教育の向上を目指して～(2)**

27日(日) 15:20～17:30 B会場
コーディネータ・座長 太田容次(国立特殊教育総合研究所)

-
- 4 B 1 特別支援教育に関わる関係機関の連携に関する考察
木村政秀・石部和人・大杉成喜・辻野賢治・西堀二郎(滋賀大学附属養護学校),
太田 容次(国立特殊教育総合研究所), 宮田 仁(滋賀大学),
- 4 B 2 知的障害養護学校における実体験につなげる情報教育
～遠隔協働学習の実践を通して～
高市幸造(愛媛大学附属養護学校)
- 4 B 3 発達障害児への療育支援ソフトの開発
金森克浩(光明養護学校), 坂本清美・村 一浩(杉並区立こども発達センター)

(課題研究 6) 情報社会における教育の方法と評価(2)

27日(日) 15:20～17:30 C会場
コーディネータ 沖 裕貴(立命館大)
座長 北川文夫(岡山理科大)

-
- 4 C 1 広域連携授業に対応した LMS「MOMOTARO V4」の開発
山本敏弘・青嶋 智(岡山理科大学大学院),
大西荘一・榊原道夫・河野敏行(岡山理科大)
- 4 C 2 学習支援ソフトウェアの開発
～e-Learning ソフト KCAI と CASL2 シミュレータ～
草野泰秀(玉野光南高等学校)
- 4 C 3 中学校における自主性を伸ばす教育方法の開発(2)
～自主性に関連する個人の学業成績並びに諸条件の考察～
沖 裕貴(立命館大), 井上史子(川西中学校), 林 徳治(山口大)
- 4 C 4 中学校における自主性を伸ばす教育方法の開発(3)
～自主性を促す教育活動と生徒の意識に関する考察～
井上史子(川西中学校), 沖 裕貴(立命館大), 林 徳治(山口大)
- 4 C 5 中学校における自主性を伸ばす教育方法の開発(4)
～抽出データを学校経営にフィードバックするためのモデル～
藤本光司(長尾中学校), 沖 裕貴(立命館大),
井上史子(川西中学校), 林 徳治(山口大)

(一般研究7) 大学教育(2)

27日(日) 15:20~17:30 D会場
座長 神月紀輔(滋賀大), 矢野陽子(九州保健福祉大)

-
- 4D1 教科「情報」を受講してきた学生の
コンピュータ・リテラシーについての現状と今後の課題
福森 貢・宮村裕子(畿央大), 柳父立一(大阪府立大)
- 4D2 授業のICT化 ~ユビキタス社会を目指したICTを活用したPaperlessによる
大学生の各教科に繋がる情報教育の授業実践と成果研究~
矢野陽子・林 正俊(九州保健福祉大)
- 4D3 幼児教育での情報教育の役割とその展開
~保育者を目指す学生の情報機器への取り組みと意識変化について~
塚田慶一(東京成徳短期大), 増澤文徳(東京成徳大学中学・高等学校)
- 4D4 大学における著作権意識の促進をめざした授業実践と学生の意識の変容
神月紀輔・宮田 仁(滋賀大)
- 4D5 リメディアル教育におけるIT活用の試行事例
~入門数学における授業支援システムの構築~
石井 恵・濱谷義弘・大西荘一(岡山理科大)
- 4D6 キャリアパスを意識した情報教育
高原尚志(新潟女子短期大)
- 4D7 短期大学生によるCATV番組制作についてIV
鎌本京子(樟蔭東女子短期大), 白川雄三(大阪学院大)

(一般研究4) アーキビストの養成

27日(日) 15:20~17:30 E会場
座長 佐藤 正明(岐山高等学校), 久世 均(岐阜女子大)

-
- 4E1 演劇文化のデジタル・アーカイブ開発における課題
~デジタル・アーキビスト養成の実践例~
三宅茜巳・持田宗周(岐阜女子大)
- 4E2 デジタル・アーキビストの養成における現地実習の重要性とそのカリキュラム構成
神谷重毅・野村明文・桐井和美(岐阜女子大学大学院),
後藤忠彦・谷口知司(岐阜女子大)
- 4E3 図書館司書・学芸員・社会教育主事等とデジタル・アーキビスト養成・資格について
楓 森博・谷 里佐・安藤久夫・谷口幸子(岐阜女子大)
- 4E4 小学校教育で必要とするデジタル・アーキビスト能力の育成
原 香(岐阜女子大学大学院)
- 4E5 高校生の準デジタル・アーキビスト資格試験と教育課題 ~アンケート分析結果から~
亀山 弘(羽島高等学校), 高納成幸(大垣北商業高等学校),
片桐郁至(大垣商業高等学校), 河渡祐一・菅井 修(岐阜各務野高等学校),
久世 均(岐阜女子大)
- 4E6 デジタル・アーキビストの養成と資格取得の現状(1)
佐藤正明(岐山高等学校), 片桐郁至(大垣商業高等学校), 亀山 弘(羽島高等学校),
矢野裕一郎・菅井 修・河渡祐一(岐阜各務野高等学校),
高納成幸(大垣北商業高等学校), 久世 均(岐阜女子大)
- 4E7 文化財・地域文化等のデジタル・アーキビスト用教材の整備(1)
持田宗周(岐阜女子大)